

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動生理学	必修 (理) 選択 (作・福)	2	1	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー	
大塚 篤也 他	D318	a.otsuka	火曜日 10:00~11:00	
授業の目的・概要	運動によって引き起こされる生理学的反応について学習し、運動時の生理学的反応の基本的説明ができるようになることを目的とする。授業の進め方は、個人で予習内容の問題を解いた後、グループで解答を導く。その後、講義を行って内容の説明を行い、授業の最後に課題を提示し、課題を実施することで内容の理解を深める。また第 10 回以降は課題発表として各グループでプレゼンテーションを行う。			
学習上の助言	授業の最初で問題を解くため予習は必須である。またグループワークを行うため、協調性を持って授業に臨む必要がある。			
教科書	入門運動生理学 第 4 班 編著：勝田 茂 出版社：杏林書院			
参考書	リハビリテーション運動生理学 監修：玉木 彰 出版社：メジカルビュー社			
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針	
①	グループで協調して問題の解答を導くことができる		HSU (3・4), PT (1・4)	
②	講義中で感じた疑問や意見を表現できる		HSU (2・4・5), PT(1・2・6)	
③	運動によって生じる生理学的反応について説明できる		HSU (2), PT (1)	
④	グループで協調してプレゼンテーションができる		HSU (3・4), PT (4)	
⑤				
⑥				
授 業 計 画				
回	学習内容等	授業の方法	準備学習 (予復習)・必要時間 (時間)	
1	[オリエンテーション] 運動生理学の概要について学習する。	講義	前期の生理学、運動学の復習	1
2	[第 1 章] 筋収縮とエネルギー供給系について学習する*1。	講義	筋収縮とエネルギーについて予習する	1
3	[第 2・3 章] 筋線維の種類とその特徴・中枢・末梢神経の構造と役割について学習する*2。	GW、講義	筋線維の種類とその特徴・中枢・末梢神経の構造と役割を予習する	1
4	[第 3・4 章] 運動の調節の仕組み・筋の収縮様式と筋力について学習する*1。	GW、講義	運動調節の仕組み・筋の収縮様式と筋力について予習する	1
5	[第 5・6 章] 運動と循環・呼吸について学習する*1。	GW、講義	運動と循環・呼吸について予習する	1
6	[第 7・8 章] 運動とホルモン・筋疲労の要因について学習する*1。	GW、講義	運動とホルモン・筋疲労の要因について予習する	1
7	[第 9・10 章] 運動と体温調節・栄養について学習する*1。	GW、講義	運動と体温調節・栄養について予習する	1
8	[第 11・12 章] 身体組成と肥満・運動処方について学習する*1。	GW、講義	身体組成と肥満・運動処方について予習する	1
9	[第 13・14 章] 運動と生活習慣病・老化に伴う身体機能の変化について学習する*1。	GW、講義	運動と生活習慣病・老化に伴う身体機能の変化について予習する	1
10	[知識確認テスト] 学習した全範囲から出題する*1。 [課題発表の説明] 発表方法や課題について説明する*1。	試験、GW	全学習範囲について復習する	2
11	[課題発表の準備] これまで授業のテーマからについて調べ、プレゼンテーションの準備を行う*1。	GW	発表する課題について調べる	1
12	[課題発表] 各グループによる課題発表を行う*1。	発表	発表する課題について調べる	3
13				
14				
15	[総括] 課題発表の評価並びに総括を行う*1。	発表	14 回分の講義内容を復習する	1

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	25	0	75	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	5	0	30	35
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	5	0	5	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		授業内に提示した課題について各グループで調べてプレゼンテーションを行う(25点)。評価内容は声の大きさ、内容の正当性、わかりやすさ等とする。				プレゼンテーションの評価結果を返却する。
	②						
	③	レ					
	④	レ					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	レ	知識は確認テストで評価し理解度を問う(30点)。思考力や表現する力、取組みの姿勢、問題発見力は授業終了時のリフレクションペーパーの内容で評価する(45点)。リフレクションペーパーの内容は授業の課題に関する考え、質問、意見、グループワークの円滑さ等とする。				小テストは採点し返却する。リフレクションペーパーは次の回に返却する。
	②	レ					
	③	レ					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当教員：◎大塚 篤也*1 (総合病院や整形外科クリニックを中心に勤務) 駒形 純也*2 (クリニックや介護保険領域を中心に勤務) ・ 担当教員の都合により講義の順番、内容が変更となる可能性がある ・ 必要に応じてグループを再編成することがある ・ 小テストの内容等については講義内で説明する ・ 課題発表の方法については講義内で説明する ・ 受講態度に問題がある場合(私語や携帯電話、スマートフォンの使用)は減点とし、悪質である場合は退室してもらう 							